

## 議会運営委員会会議録（平成23年3月24日開催）

### I 開催日時

平成23年3月24日（木）10時00分～10時55分

### II 開催場所

役場 4F 中会議室

### III 出席者

委員長：山谷 仁、副委員長：高橋 寿

委員：日向清一、遠藤秀鬼、柳村 一、佐々木 剛、黒沢明夫

議長：角掛邦彦、副議長：川原 清

事務局：太田局長、勝田主任主査

傍聴者：なし。

### IV 説明員：なし。

### V 協議

1 開 会 太田局長

2 挨拶 山谷委員長

3 協議事項

山谷委員長 地震対応、選挙の準備等お忙しい中お集まり頂き大変ありがとうございます。スムーズな会議運営をお願いいたします。

角掛議長 最後の議会運営委員会です。次期改選後の臨時会までの日程等をご協議いただきたい。昨日の新聞で、被災地の方々の議員選挙については延期するという話が出ていた。内陸部の地域は、該当にならなかった。しかし流動的ではあるようだ。明日25日は事前説明会が開催される。選挙管理委員会から今後の方向性など説明があると思う。現段階では4月24日に行われる方向で準備を進めていただきたい。

山谷委員長 只今の出席は7名全員です。定足数に達しているので会議は成立します。

#### (1) 閉会中の継続審査について

##### ①次期議会の会期日程等の議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項について

太田局長 次期初議会までの日程をお知らせします。5月2日に全員協議会、5月9日に議会運営協議会、5月11日に臨時会を開催する予定としています。

5月2日の全員協議会は、会派をしくかどうかの協議、会派制とする場合は会議を休憩し、会派届の提出をお願いし、会派別名簿を作成し、全員に配付予定としています。

次に議会運営協議会を設置し、議会運営を協議いただきたい。委員会条例第4条の2第2項を準用し人数は7名とする。

5月9日の議会運営協議会では、会派の代表者、幹事長、経理責任者の報告、本会議場の議席について、常任委員会について協議いただく。その後議会運営委員届を提出頂き、議会選出各委員についての取り扱いについて協議いただく。議会広報編集特別委員会を設置については、議長と副議長の会派離脱等協議いただきたい。

5月11日の臨時会では、議長、副議長の選挙、各常任委員会の委員、議会運営

委員会の委員、議会広報編集特別委員会の委員の指名、議会選出各委員の指名推選等を行い、各委員長、副委員長の互選報告をする予定としている。

以上簡単な説明になりますが、5月2日の全員協議会におきまして、5月9日以降の日程について精査の上、改めて連絡いたします。

山谷委員長 委員より質疑ありますか。  
委員 【なし】  
山谷委員長 事務局説明の通りとします。

## (2) その他

### ①次期議会における議会活性化事項の申し送りについて

太田局長 申し送り事項の案という事で提示しております。平成23年度以降の取り組みについて、新たな議会運営委員会において継続的に調査並びに協議いただきたい。これまで4年間に取り組んだ内容について、①～⑩まで列挙しています。継続して取り組むもの、未実施であり今後取り組むものなどご確認いただきたい。

山谷委員長 次期運営委員会において、申し送り事項について説明を行い、運営委員会で実施について協議いただきたいという内容です。

委員より質疑ありますか。

委員 【なし】

山谷委員長 事務局説明の通り、次期議会運営委員会に申し送ることとします。

### ②その他

高橋副委員長 今度の選挙について、報道では、連呼の自粛、選車の運行時間の制限とか言われているが、ガソリン不足の時に、議会として何か手立てをしなくて良いのか、選挙管理委員会に申し入れしなくて良いのか、皆さんどのように考えているのか聞きたい。既に選車を使用しないというように、決めた市町村もあると聞いた。

太田局長 新聞、インターネット色々調べたが、正式に決定したという内容は載っていなかった。他県では申し合わせするかどうかの話し合いをしているという内容にとどまっている。申し入れについては、共産党が滝沢村の選挙管理委員会に申し入れたと聞いている。またこれから被災者の受け入れが始まると考える。実際に投票が出来るのかという問題、滝沢村の特殊な事情になるが、各地区から自衛隊が当村にたくさん来ている状況であり、不在者投票が円滑に出来るのかという問題が考えられる。そういった事情を岩手県を通して国に訴えたが、残念ながら第1次指定を受けることが出来なかった。今回、ガソリンのこと、住民感情のことも考えて、選挙管理委員会には内部的に話しているというのが現状だ。

佐々木委員 今回の選挙で、盛岡市、栗石町、滝沢村など一つの広域で一緒にやることになると思うが、情報交換してはどうか。

柳村委員 国が選挙をやりますといえばやらざるを得ない状況ということだが、選車などはまた別の話ではないか。滝沢村議会議員選挙の選車は自粛しようという立候補を予定されている方々で自主的に決めれば出来るのではないか。

佐々木委員 村独自の選挙だから、選挙管理委員会で決めれば出来るのではないか。

勝田主任主査 選挙管理委員会では公職選挙法等法律に基づいて事務を進めている。例えば選車使用を自粛しようということは決定できないと考える。あくまでも立候補予定者の自主的な申し合わせの範囲であれば可能ではないかと考える。

黒沢委員 現職で立候補を予定している方はそれで良いかもしれないが、新人の方にはどの

ように説明するのか。

山谷委員長 立候補者の申し合わせとなると、現職も新人も合わせての申し合わせになると考える。

角掛議長 意見ですが、滝沢村は他の市町村より有権者が多いし、面積も広く広域にわたっている。もし選車を使わないということになれば、その候補者の地域でしか活動出来ないことになる。村内の選挙区ごとの人数は比較にならないほど開きがある。公平、公正ということが損なわれるのではないか。

高橋副委員長 選車を自粛する方法、あるいは運行時間を短縮する方法を統一すれば公平性は損なわれないと思う。既に連呼は止めようということが報道されている。被災している方々がいるということを議員としても受け止めなければならないと思う。自分の選挙を省みずにボランティアとして活動している人もいる。その時点で不公平が発生している。1000年に一度という今回の地震のことを考慮に入れて選挙運動を考えなければいけないと考える。選挙管理委員会にも申し入れたほうが良いと考える。

角掛議長 このことについては、議会運営委員会ではなく、議員全員に係わることだ。全議員で申し合わせをしなければならない事項だと考える。

黒沢委員 今までと同じ内容では選挙活動は出来ないと思うので、議論してできるように出来ること出来ないことを明確にしたほうが良い。このことは選挙管理委員会に申し入れるのか。

山谷委員長 選挙管理委員会は法律に則り事務を進めるだけなので、申し入れずに立候補予定者同士での判断による内容だ。

太田局長 議会運営委員会としての議論はなかなか難しいと考える。明日、立候補予定者事前説明会が開催されるので、そこでの話し合いや申し合わせなどの方法もあろうかと思う。

高橋副委員長 立候補者事前説明会では候補者自身が来るかどうか分からない。今、議会運営委員会で内容が確認できれば、明日以降立候補予定者に対して話が出来る。後は個々の判断に任せてはどうか。

黒沢議員 1ヵ月後のことであり、その時点でガソリン事情がどうなっているかにもよると思う。

太田局長 内容が議会運営の話ではなく、選挙のことなのでここで結論を出すことは難しいと思う。

高橋副委員長 ここの場で結論を出すということではない。このような考えがあるが選挙管理委員会ではどう考えますかという打診を、今からしておかなければならないのではないかと。今議論している内容が議会運営委員会に出されたということを知らせるということだ。

山谷委員長 暫時休憩します。

【暫時休憩 10 : 30】

【再開 10 : 43】

山谷委員長 会議を再開します。

黒沢委員 このまま選挙を執行した場合に、今回の申し合わせを立候補予定者に知らせる方法はどうするのか。

角掛議長 議会運営委員会のメンバーは各会派の方々がいるので、まずは会派で周知と調整をしてほしい。どういう意見があるかその内容を事務局に知らせて欲しい。そこで統一が図られなければ全員協議会で議論するしかない。そこで結論が出なければ、

今まで通りの選挙活動になると思う。

山谷委員長　それでは、各会派で意見を出して、事務局までお願いしたい。選挙まで1か月あるので検討していただきたい。

遠藤委員　申し合わせ事項は全議員ですることなのか。

高橋副委員長　全議員で申し合わせをして、その内容を立候補予定者に対して知らせるということだ。まずは投票日自体の延期があるかないか国の動向に注意しながら、もしそれが当初の通り24日の投票日であれば、時間短縮や伴走車の廃止など、常識の範囲内で出来るのではないかと意識統一したい。

山谷委員長　まずは会派で議論していくことで統一していただきたい。

太田局長　次に政務調査費についてです。平成22年度の政務調査費の報告書について、従来は事務局でチェックした後、議会運営委員会のメンバーでチェック頂いた。今回改選期となるので、事務局でチェックした後、新しい議会運営委員会のメンバーで追認の形になってしまうがチェックする方向でどうかと考えている。ご意見をお願いしたい。

高橋副委員長　議員の任期は4月30日までなので、その間はいつでも議会運営委員会や全員協議会を開ける。会派での意見等を取り纏め、ある程度骨子ができたら、全員協議会を開催することも視野に入れて、日程を組んで欲しい。

山谷委員長　それでは、今の意見も含めて事務局の案で取り組むこととします。

【10時55分終了】